

# 東日本大震災支援金のご報告

平成30年2月28日現在

収入の部	お客様からの支援金のお預かり	13,191,987 円
	(株)パスポートの負担金	13,338,936 円
	合計	26,530,923 円

## 支出の部 1. 震災直後における《 生命をつなぐ緊急支援 》

震災直後の3月13日には、カップ麺・水・レトルト食品・毛布・紙おむつを満載した4トントラックを現地に送りました。3月17日には需給逼迫の中で何とか確保出来たこしひかり米満載の10トン車、3月18日には餅・麺類・牛乳・バナナを積んだ10トン車を続けて現地に送り込みました。その後も確保出来た支援物資を次々と被災地に送り続け、その総額は約895万円相当になりました。

震災直後の支援の要点は、「生命をつなぐ緊急支援」の実施でした。支援物資の送付先は、福島市、いわき市、南相馬市、郡山市、田村市、二本松市の各市町村です。支援物資は、被災地の情報を精査し、物資が危機的に欠乏している地域を選んで、お届けいたしました。当社の支援物資の素早い到着に、いわき市長からは震災直後の混乱の中にもかかわらず、直接感謝のお電話を頂きました。また、各市長からも、効果的な支援に対し感謝状を頂いております。

8,954,390 円

## 2. 被災者の自立を促し、心の絆を深める《 継続的支援 》

石巻市を中心とした被災者の方々に、お米、調味料、インスタントラーメン、漬物、佃煮、野菜などを詰合せた「生活セット」を4/30、5/22、6/6、6/25、7/2、7/21、8/7、8/20、9/24、11/26と累計で280世帯分を支援しました。合わせてネバリ・バザーロ様が企画する、被災者の方々約50名様をご招待する東鳴子温泉ツアーの炊き出し用の食材提供と、パスポート社員5名が実際に現地にて炊き出しボランティアの活動を実施いたしております。

また、昨秋には石巻市、釜石市、陸前高田市の仮設住宅に、ネバリバザーロ様及び盛和塾東京・横浜様からお預かりした電気敷毛布やカイロ、大人用紙オムツなど冬場に必要とされる支援物資もお届けし、大変喜んで頂きました。

また、東松島市の宅老所と石巻市北上町白浜に水仙の球根500個を植え、陸前高田市の仮設住宅にパンジーのプランターを配りました。

食材を中心とした物資の提供だけでなく、パスポートのスタッフが毎月直接現地へ足を運び、被災された皆様に直接お会いすることで、人と人との絆を深めるとともに、被災者の自立支援の一助となる様に努力してまいります。

9,135,106 円

なお、具体的支援の詳細は当社ホームページにてご紹介させて頂いております。

## 3. その他の支援

フェアトレード団体の「ネバリ・バザーロ」の皆様が「顔の見える支援」を継続的に、地道に実施しています。この団体に対する活動支援として100万円を支払いました。(詳細は、下記ホームページに公開されています。)  
[http://nbazaro.org/wordpress/?page\\_id=3335](http://nbazaro.org/wordpress/?page_id=3335)

1,000,000 円

中央共同募金会

731,941 円

陸前高田市の製油工房「椿のみち」様は、障害者自立活動支援の一環として、椿油の製油工場を建設しましたので、一部支援させて頂きました。

1,000,000 円

大鵬部屋との共同プロジェクトで、献血車(大鵬号)を福島県赤十字社へ寄贈

3,000,000 円

松山バレエ団公演(宮城県石巻市復興支援)への寄付金

200,000 円

夢のかけはしプロジェクト

900,000 円

福島県立浪江高校野球部に「陽日の郷 あずま館」様を通じて支援。校長先生から感謝状を頂きました。

300,000 円

東北フードマラソンに協賛しました。

1,081,702 円

東北パラカップマラソンに協賛しました。

108,000 円

畑山英美衣著『天使クラブ』を被災地に配布し、皆さんから「勇気づけられました」と、大変に喜ばれました。

119,784 円

合計 26,530,923 円

差引残高 0 円

東日本大震災支援金にご協力を頂き、ありがとうございました。  
支援金の収支につきまして、上記のとおりご報告いたします。  
ご質問・ご意見等がございましたら、下記まで遠慮なくご連絡ください。  
引き続き、よろしくご協力の程お願い申し上げます。

平成30年2月28日  
株式会社 パスポート  
経営支援本部 担当: 栗田 博  
TEL 044-975-4800